

横芝の碑 その四

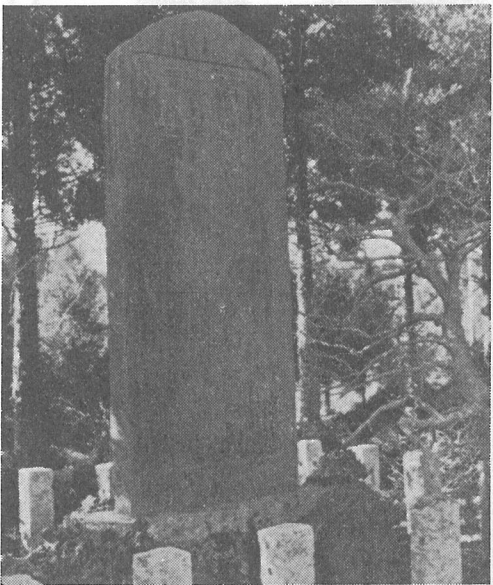
仰げば尊し

—八安塚先生の報徳碑—

小堤の振子坂を上り、両総用水第二機場の裏手を過ぎて坂の勾配が漸くきよきよとする左手の高台に根府川石らしい立派な碑が建っています。篆額には篆書体で報徳碑と刻まれています。

この碑は、元大総尋常高等小学校初代校長安塚光太郎先生のためにその教子達が建立したものです。

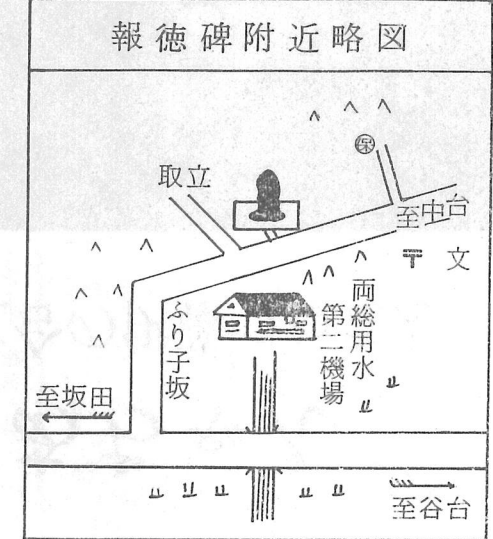
先生は印旛郡佐倉の出身で千葉師範を卒業後各学校を経て明治二三年一月大総尋常高等小学校長として赴任、以来明治四五年に到る二〇年余り、「子弟の教育は学校のみならず」と住居を大総の地に求めて教育一筋に打込まれたのです。当時の教子であった元大総村長の土屋煮一さん(牛熊)は「安塚先生はとに角熱心な方で、教室では仮初の外見も許さず、鞭がとぶこととは度々でした。しかし、一度教室から離れると尋常一年生にも話しかけられる、とうやうやさしい面もありました」と話しています。そうした先生の熱意は近隣町村にも伝わり、二川、多古、横芝等から



寄留転学が相継ぎ、加えて高等科が設けられている学校が少なかったこともあり一時は九〇〇名に余る教子を擁し授業時間の分割を余儀なくされる有様でした。四五年二月健康が勝れず退職された後も尚先生の徳を慕い先生の私宅を訪れて教へを乞う青年の姿も数多く見られました。

大正五年一月、養生の甲斐なく逝去されましたが大総村では生前の功德に対して先生

の遺体を火葬場に送る時に村葬の格式を以て偶したのです。其後教子達はそれぞれ社会に巣立ち、馳て各方面の要職につき、又実業界にと立派に先生の薫陶をいろいろな形で生かし続けられました。しかし、そうした方々の心の中に何時も焼附いていたのは先生の人徳でした。昭和の初め誰からともなく先生の報徳碑建立の話が出ますと、関係者の衆議は忽ちに一決し、この様に立派な報徳碑が建立されたのです。碑面には、



人生而非知者成就師而得知故師恩之重須臾不可然也先生諱光頼安塚氏通称光太郎印旛郡佐倉人家世仕堀田公曰右中太毗松本氏先生其第二子也資性温厚小学城内西塾後転于鹿山精舎更入変則佐食中学校修

漢英数之三学科長入千葉師範学校卒業後奉職于数校明治十六年出向神奈川県更に奉職于松田及三育校又転于栃木県鳥山尋常高等小学校二十三年十二月為訓導兼校長来于大総教于教授子弟益見有万爾後二十余年提伸誇掖諄々不倦竟博長校長名是故自四隣校転学者頗多門弟垂九百人三十二年受普通免許於文部大臣四十二年受彰功於知事且兼圖書館長又為日本赤十字社終身社員四十五年二月罷病退職優游養老大正十一年一月十五日忽然病歿大

議忽決乃関其事者来清文於余余老耄雖固辭堅請不已因思余曾引執教鞭於同校遂感焉然淺學恐不能詳拳其鴻德聊叙厥梗概以誌不忘云銘曰
奉職小庠 功溢閭鄉 人古梅
匹的傑流芳 溢焉辭世 門
弟悲傷 蕩々之德 鴻恩難忘
碑樹於此 骨葬佐倉 東西
赫灼 如名放光 嗟予小子
(給食センター小沢所長寄稿)

農業統計調査始る

二月一日現在で農業基本調査が実施されます。この調査は、農業の基本的事項についての総合的な農業統計調査です。この調査をもとに、農業の実態を明らかにするとともに、今後の農業行放に必要な統計資料を整備することが目的です。正しい申告をされますようご協力をお願いいたします。

○調査事項
①世帯員の状態 ②経営耕地 ③養蚕 ④農業労働 ⑤農用機械 ⑥施設園芸 ⑦畜産 ⑧果樹 ⑨農作物 ⑩過去一年間の農産物の販売

清景仰望
昭和三年一月
貴族院議員正四位伯爵 堀田正恒 篆額
元山武郡大総尋常高等小学校 訓導 菱木簡吉 撰文
南満中堂教諭三輪 環 書

尚、三輪環先生は長倉の出身で牛熊薬王寺に開かれていた寺小屋時代の先生で土屋煮一さん宅に寄宿しておられ、後上京され書家として一家を成し国定教科書の書方の手本等を書かれた方だそうです。それからこの碑の背面には教子達の氏名が細かく刻まれています。中には元大総村長さんを始め横芝方面等の謂所功成り名遂げた方々の氏名も大分拝見できます。そうした著名な方々も自分の手に鎌等を持って報徳碑の周辺清掃に奉仕されるということなのです。II仰げば尊しII卒業式歌の心はこの碑に残っていたので